

学校教育目標：感性豊かで、主体的に行動する生徒の育成
重点目標：未来の社会で活躍するために必要な夢元の力の育成

令和6年11月 1日

学 校 だ よ り

No.11

長崎市立大浦中学校
文責 校長 岩下 俊明

日々の授業から 3



子どもたちの授業の様子をお知らせする3回目は、1年生の保健体育科の授業です。

現在、保健体育科では、ソフトボールを行っています。しかし、通常のソフトボールとは少しルールが異なっていて、ホームベースのところ

にティーを設置（写真）し、その上に置いたボールを打つのです。ピッチャーがいない競技です。子どもたちは4つのチームに分かれ、それぞれのチームでポジションや打順を考え、話し合いながら作戦会議を行います。実技の教科でも対話活動を行います。その後、実際のゲームに移ります。

ゲームでは、なかなか思ったようにはいきません。「ベースを踏み忘れて進塁する場面」や「誰もいないファーストに送球する場面」など珍プレーが多く見られました。

これから、お互いにアドバイスを送りながら、少しずつ技量を高めていってほしいと思います。



をされました。保護者と教職員が協力して、子どもたちの成長する姿を見守ることができることが有意義なことであると確認がなされたとのことでした。

2日目は、全体会と記念講演が行われました。講演では、最近、テレビでもよくお見かけする、放送作家の野々村友紀子さんが「強く生きるためのヒント」の演題のもと、高校生である2人のお子様に囲まれたご自身の家庭での様子などをふまえてお話をされました。

講演の中で、強く生きるためのヒントとして人間関係について示された言葉を紹介します。

「口角をさげるな、頭をさげろ」

人の悪口、愚痴ばかり言っていると口角がさがる、ありがとうと感謝の気持ちを表そう
「いってらっしゃい、おかえりは幸せの言葉」
いつもこの言葉をかけてください。家庭を明るくしてくれる言葉です。

大会では、本校のPTA会長も役員として活躍されました。また、5名の生徒もボランティアとしてお手伝いを行っていました。お疲れさまでした。

九州PTA大会 開催

10月26日（土）、27日（日）の2日間、出島メッセにおいて、第69回日本PTA九州ブロック研究大会が開催されました。

1日目に6つのテーマの分科会が開催され、各県から集まった会員の皆さんの意見交換が行われました。

特別分科会では、長崎の会員の皆さんがパネリストとして、PTAの意義などについて協議